



今月のトピックス

地域の歴史に親しむ講座

『「武功夜話」における堀田道空

—織田信長と美濃斎藤道三 女(むすめ)との縁組—』

- 日時 3月16日(土) 午後2時より
- 講師 松浦由起氏(豊田工業高等専門学校名誉教授)
- 場所 津島市立図書館 2F大集会室 / 事前申し込み不要・無料



『武功夜話』は、織田家三代(信秀、信長、信雄)や豊臣秀吉等に仕えた尾張の旧家・吉田家に伝わる家伝記です。ここに登場する美濃との和睦に尽力した津島の堀田道空について、『信長公記』の内容と比較しながら、『武功夜話』の記述や当時の状況などを紹介します。

図書館企画展示 『図書館所蔵古銭から見た元号

—古銭から元号を考える—』

- 日時 3月1日(金)より
- 場所 図書館入口の展示コーナー



今年5月に平成から新たな元号に変わります。これに関連し、図書館では所蔵している古銭から元号について考えてみたいと思います。江戸期に多く流通した「寛永通宝」等の元号銭を始め、交易によって輸入された「明銭」「宋銭」等の中国銭も展示いたします。

また、元号や古銭の奥深さ、それにまつわる逸話などもパネル等でご紹介いたします。



8日は「みやげの日」



3月8日は3(み)8(や)の語呂合わせで「土産(みやげ)の日」です。旅行の思い出に名物のお菓子や記念品など、郷土だけの土産もあれば、日本中で知られているお土産もあります。

今回はあげてもうれしい、貰ってもうれしいお土産に関する本をご紹介します。

- 『ニッポンおみやげ139景』 豊嶋操/著 KTC中央出版 689.5ト
- 『おみやげ帖(ことりっぷ)』 昭文社 291.0才
- 『旅のおみやげ図鑑』 杉浦さやか/著 幻冬舎 B290.9ス
- 『北欧おみやげ手帖』 森百合子/著 主婦の友社 293.8モ



新 着 図 書

『歴史家と噺家の城歩き』 中井均・春風亭昇太・齋藤慎一/著 高志書院 215.1 冊



戦国時代、織田信長や徳川家康が最も恐れていた武将武田信玄。その武田氏の領国である甲斐国（山梨県）には幾つもの城が点在し、現在も多くの城跡が残っています。この本は著者である大学教授の中井均氏、落語家の春風亭昇太氏、博物館学芸員の齋藤慎一氏が武田氏にまつわる城跡を実際に歩き、検証する内容になっています。

最初は武田の中心的な城であった躑躅ヶ崎（つつじがさき）の館から始まり、石垣の積み方、建物跡から時代の変遷を見つけていきます。城跡を散策する楽しみ方が凝縮した 1 冊です。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『日帰り絶景さんぽ旅』 ←東海地方の日帰り旅行を紹介。景色やグルメが楽しめる人気スポットの情報満載。
- 『九十歳。何がめでたい』 佐藤愛子/著 ←雑誌連載の人気エッセイを書籍化して大人気。後に舞台化も。
- 『またここか』 坂元裕二/著 ←タイトルは舞台の脚本から。著者は人気ドラマを数多く手掛けた脚本家。
- 『猫も老人も、役立たずでけっこう』 養老孟司/著 ←著者と飼い猫まるとの老いを楽しむ極上のエッセイ。
- 『純喫茶とあまいもの』 難波里奈/著 ←喫茶店でお茶のお供に注文したい甘くておいしいパフェやケーキ。
- 『ほんのきもち』 朝吹真理子他/著 ←16人の作家でつづる書き下ろし作品集。テーマは贈りものがたり。
- 『下町ロケット〔4〕』 池井戸潤/著 ←昨年テレビで大人気だったドラマの原作。佃製作所の命運は如何に。
- 『乾物マジックレシピ』 サカイ優佳子・田平恵美/著 ←保存がきいて栄養豊富な乾物食品。レシピ多数掲載。
- 『ぼくは朝日』 朝倉かすみ/著 ←北海道小樽を舞台に小学生朝日とその家族に巻き起こる人情ストーリー。
- 『ばあばの100年レシピ』 鈴木登紀子/著 ←日本料理研究家としてこの先に伝えておきたい料理レシピ。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>

休館日

26日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145

